



美川自然クラブ

です

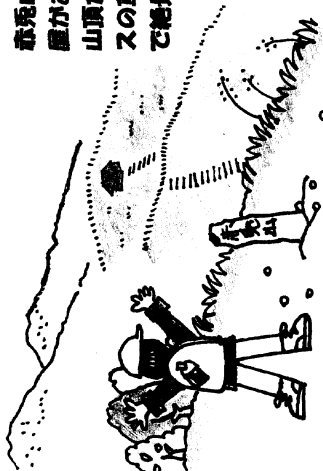
H・16 11月号

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

10月17日(日)に自然クラブの有志で「赤兎山」に登ってきました。

この山は、福井県大野市にあります。登山口は勝山市で、白峰から勝山に向かう国道157号線から入ります。(入り口はちょっと見通しやすいので注意) 優しく丸みを帯びたこの山は、その姿かたちがウサギのように見えるため「赤兎山」と呼ばれるようになったと言われています。

今回は、ゆっくり2時間かけて山頂(1628.7m)に立ちました。この日は台風のと雲一つ無い青空で、目の前には初雪をかぶった白山が大迫力で横たわり、近くの色づいた木々との対照がとても美しかったです。



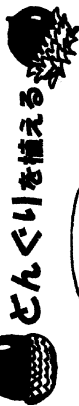
赤兎山頂から15分ほど下ると遊歩小屋があります。山頂から見える赤色の小屋は、アルプスの麓に建つ「ハイジの家」みたくて絶景でした。

白山(2702m)には阿国が登りましたが、赤兎山はじめてでした。(筆者) けれども白山の美しい姿を間近に見ることの出来る赤兎山は、一層で気に入りました。この大バノラマは一見の価値があります。

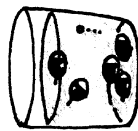
登山ではクマが心配でしたが、運良く出会いませんでした。クマといえは、今年はずっと山に降りてきています。「ミスナラ」の木が夏から枯れているのと、台所でクマの糞とされる木の葉が落ちてしまっって、おまかかすいてエサをさがしに降りてくるのでしょうか。

・・・というわけでもないので、「どんぐり」の木を育ててみませんか？クヌギの森も、フナノ原生林もカシの大木もみんな「ひとつのドン

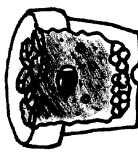
グリ」から生まれたのです。



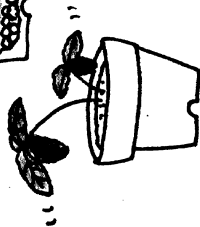
どんぐりを植える



1. 拾ってきたどんぐりを植える前に水に付ける。虫の入ったものや腐んだものは水に浮く。これらは発芽しないので除く。



2. 植木鉢は深めのほうがいい。水はけがよいように下に小石や砂、その上に腐葉土を混ぜた土を入れる。指で深さ3~4cmの穴を掘り、横向きに埋める。



3. つぎの年の暮でこれくらい、3年目で30cm以上になるが、鉢のままでほおびておいてあげよう。この時期を過ぎたら大地にかえしてあげよう。

ひとことで「どんぐり」と言っても、たくさん仲間がいること知っていました？

コナラ、ウバメガシ、ミスナラ、シリフカガシ、マテバシイ、アベマキ、クリ、クヌギ、カシワ、アラカシ、シラカシ、ツクバネガシ、イチイガシ、アカガシ、ツブシガシ、スタジイ、フナ、イヌフナ、・・・